「スノーフェスティバル in ZAO」実現に向け、第一歩！

４ 月 16 日、スノーバレーボールジャパン代表理事の田中姿子は、宮城県蔵王町役場を訪れ、スノーバレーボールのイベント「スノーフェスティバル in ZAO」実現に向け、打ち合わせを行いました。

この日の打ち合わせに参加したのは、蔵王町町長を始め、地元関係者やサポーター予定企業、日本バレーボール協会の担当者など、総勢１８名。

田中は「来年、２２年の北京冬季五輪で、スノーバレーボールはエキシビションで開催され

ることになっており、２６年のミラノ大会では正式競技に入ると予想している。このイベント開催をきっかけに蔵王から世界へと展開していきたい」と参加者に熱くスピーチしました。

「スノーフェスティバル in ZAO」では、エキシビションマッチを軸にスノーバレーボール体験教室や地元、蔵王町の魅力を紹介するコーナーなど様々なイベントを開催する予定です。
新型コロナの感染状況にもよりますが、早ければ 2 年後のイベント実現に向け、蔵王町と一体になって準備を進めていきます。

今後もスノーバレーボールジャパンは、各自治体や団体と連携し、様々なイベントや大会の開催を通して、スノーバレーボールの普及と地域活性化に貢献していきます。
みなさん、応援よろしくお願いいたします！